

雇用を守る「指定管理者制度」に改善を

立憲民主党 市会議員 やまうら英太

地区センターやスポーツセンターなど、「公の施設」に対し、市が民間企業に管理運営を委託する「指定管理者制度」が導入されてから、早くも15年が経過しました。市内では現在、900を超える施設が指定されており、皆様ご存知な所では、日産スタジアム、横浜歴史

博物館、横浜国際プールなども指定管理されています。

区民・市民のために

私はこの制度の見直しに着手する時期がそろそろ来ていると考えています。その理由の1つ目が大きな施設を運営でき

ることは、2つ目が最も大きな理由となりますが、その一方で3～5年に1回、管理者（企業）は再改選されることが多いことから、どうしても企業

側はリスクヘッジをし、人件費を抑えようとするため、労働者を安定的に確保しないこと。臨時職員、パート社員などの非正規雇用労働者が増えていく面があると指摘せざるを得ないのです。

市のそもそもの導入目的は、多様化する市民のニーズに効果的に対応するためとしており、それがもつとも重要です。だからこそ、働いている方々の雇用をしっかりと守ることが、利用者である区民・市民の方々へのサービス向上に最終的に直結すると考えます。

行政には特に、この部分の改善を早急に取り要請していきます。



横浜市議員

やまうら英太

《略歴》

◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大学卒業、グローバル経営大学院修了、㈱ニトリ ◆横浜市認定保育園園長（保育士） ◆衆議院議員秘書 ◆2015年横浜市議員初当選

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7
☎045-864-3112 <http://www.yeita.net/>

立憲民主党

The Constitutional
Democratic Party of Japan